整理番号

D－2－4　　356

標 題 名

害虫駆除予防二関スル関係法規

著 者 名

発行者名

静岡県

発 行 年

明治３２頃

製作年月

平成２８年８月

害蟲驅除豫防ニ關スル關係法規

静岡縣

植物防疫資料館図書之印

害虫驅除豫防法

（明治二十九年三月二十四日 法律第十七號）

第一條　此ノ法律ニ於テ害虫ト稱スルハ農作物ヲ害スル各種ノ虫類ヲ謂フ

第二條　驅除豫防スヘキ害虫ノ種類及驅除豫防ノ方法ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

認可ヲ經タル種類以外ノ害虫發生シ急速ノ處分ヲ要スルトキハ地方長官ハ臨時驅除豫防ノ方法ヲ定メ之ヲ施行スルコトヲ得此場合ニ於テハ直ニ其旨ヲ農商務大臣ニ具申スヘシ

第三條　害虫田畑ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ地方長官ハ豫メ期限ヲ定メ該田畑ノ作人ヲシテ驅除豫防ヲ行ハシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ作人驅除豫防ヲ行ハサルトキハ地方長官ハ市町村費ヲ以テ之ヲ行ヒ市町村ヲシテ該作人ヨリ其費用ヲ徵收セシムルコトヲ得其費用ノ徵收ニ關シテハ市制第百二條及町村制第百二條ヲ適用ス

第四條　害虫蔓延シタルトキ又ハ蔓延ノ兆アルトキ若ハ害虫田畑以外ノ地ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ地方長官ハ市町村費ヲ以テ驅除豫防ヲ行フコトヲ得

第五條　地方長官ハ前條ノ驅除豫防ノ爲メニ市町村ニ命シテ夫役ヲ市町村全部又ハ一部ノ田畑ノ作人及所有者ニ賦課セシムルコトヲ得

夫役ハ害虫ノ種類ニ依リテ田又ハ畑ニ區別シテ賦課スルコトヲ得

夫役ノ賦課ハ段別又ハ地價ヲ以テ準率ト爲スヘシ

夫役ハ各別ノ率ニ據リ小作人、自作人及地主ニ賦課スルコトヲ得

本條ノ場合ニ於テハ市制第百二十三條及町村制第百二十七條ヲ適用ス

第六條　地方長官ハ驅除豫防ノ爲メ必要アルトキハ市町村費ヲ以テ溝渠ヲ設ケ又ハ農作物、藁稈、刈株雜草ヲ拔棄若ハ燒棄スルコトヲ得

本條ノ場合ニ於テハ第五條ノ規定ヲ適用ス

第七條　驅除豫防ノ必要ヨリ生シタル損害ニ對シ被害者ハ賠償ヲ要求スルコトヲ得ス

第八條　土地所有者、管理者又ハ使用者ハ官吏及其指揮ヲ承クル者ノ其地ニ入リ驅除豫防ニ從事スルヲ拒ムコトヲ得ス

第九條　地方長官又ハ郡長ハ必要ナル場合ニ於テハ北海道地方費府縣稅（地方稅）又ハ郡費ヲ以テ第三條第四條第六條ノ費用ヲ補助シ若ハ驅除豫防ニ必要ナル器具ヲ給與シ又ハ貸與スルコトヲ得

第十條　虫類以外ノ動物又ハ黴菌ト雖農作物ヲ害スルトキ又ハ害ルノ虞アルトキハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ此ノ法律ヲ適用スルコトヲ得

第十一條　第三條ノ塲合ニ於テ地方長官ノ命令ニ從ハサルモノハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料又ハ一日以上十日以内ノ拘留ニ處ス

第十二條　第六條及第八條ニ依レル官吏若ハ其指揮ヲ承クル者ノ行爲ヲ妨害スル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金又ハ十一日以上二十日以下ノ重禁錮ニ處ス

第十三條　本法中市町村ニ關スル規定ハ北海道ノ區町村、沖繩縣ノ區間切島及市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於ケル町村ニ準スベキモノニ之ヲ準用ス

第十四條　此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

害虫驅除豫防法取扱手續

（明治二十九年三月廿八日農商務省訓令第六號（府縣））

第一條　害虫驅除豫防法第二條第一項ニ依リ驅除豫防スベキ害虫ノ種類及驅除豫防ノ方法ニ付キ本大臣ノ認可ヲ請フトキハ各害虫ニ付キ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　名稱、方言

二　主ナル被害農作物ノ種類

三　驅除豫防ノ方法

害虫驅除豫防法第二條第二項ノ場合ニ於テモ本條ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添フベシ

第二條　害虫驅除豫防法ノ施行ニ係ル命令ヲ發布シタルトキハ其都度本大臣ニ報告スベシ

第三條　害虫一市町村以上ニ蔓延シタルトキ又ハ蔓延ノ兆アルトキハ隣接市町村ニ於テ同時ニ驅除豫防ヲ行フベシ

第四條　害虫隣接府縣ニ蔓延セントスルノ虞アルトキハ其旨ヲ關係府縣ニ急報スベシ

第五條　二府縣以上ニ跨リ害虫蔓延シタルトキハ關係府縣ハ臨時驅除豫防ノ方法ヲ議定シ施行區域ヲ定メ驅除ヲ行フベシ此場合ニ於テハ府縣知事ハ其區域及第一條第一項ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ直ニ其ノ旨ヲ本大臣ニ具申スベシ

第六條　害虫驅除豫防法第十條ニ依リ虫類以外ノ動物ニ對シ該法律ノ適用ニ付本大臣ノ認可ヲ請フトキハ本令第一條第一項ノ規定ヲ適用ス

第七條　害虫發生シタルトキハ直ニ其旨ヲ本大臣ニ急報スヘシ

第八條　害虫蔓延シ若ハ蔓延ノ兆アリテ市町村費ヲ以テ之カ驅除豫防ヲ行フトキハ其都度直ニ左ノ事項ヲ本大臣ニ報告スヘシ

一　害虫ノ種類

二　郡市町村名
三　被害農作物ノ種類及被害見積別段
四　被害ノ狀況

第九條　每年度ニ於テ市町村費ヲ以テ施行シタル驅除豫防ニ關スル事項ハ左ノ表式ニ依リ翌年四月三十日マテニ本大臣ニ報告スヘシ　（表式略ス）

害虫驅除ニ付注意ノ件

（明治二十九年三月二十八日農商務省訓令第五號（道廳府縣））

害虫ノ驅除ハ其發生ノ初期ニ於テ之ヲ行フヲ最モ効アリトス放ニ苟モ農作物ヲ害スル虫類ノ發生シタル場合ニ於テハ農家ヲシテ其機ヲ失フコトナク務メテ之カ驅除ニ從事セシムヘシ

害虫驅除豫防規則

（明治三十二年四月十八日縣令第十八號）

第一條　明治二十九年法律第十七號害虫驅除豫防法ニ依リ害虫ノ種類ヲ定ムルヿ左ノ如シ

害虫ノ種類	方言	農作物
一、螟虫	ズイムシ	稻

二、浮塵子　ヨコバイ、ウンカ　稲
三、螟蛉　ハムシ　稲
四、葉捲虫　ハマキムシ　稲、茶、桑
五、蚕蟲　イナゴ　稲
六、切蛆　キリウジ　稲、麥
七、象鼻虫　イチゴゾウムシ、ヒメゾウムシ　稲、桑
八、蛞蝓　ケムシ　茶、桑、果樹
九、天牛　カミキリ、テツポムシ　桑、果樹
十、尺蠖　シャクトリムシ　桑　茶
十一、地蚕　ヨトウムシ　穀、菽、蔬菜
十二、介売虫　カイカラムシ　茶、桑、果樹
十三、蚜虫　アブラムシ　穀、菽、蔬菜

第二條　第一條ノ害虫豫防ノ方法ハ左ノ各項ニ依ルベシ

螟虫

一、共同点火法ニ依リ蛾ヲ誘殺スルコト
二、捕虫網ヲ以テ捕獲スルコト

三、稻苗代及本田ニ於テ螟卵ノ採取ヲ行フコト
四、枯莖及枯穗ヲ摘採スルコト
五、發生稻莖ハ之ヲ截斷シテ推積肥中ニ混スルカ若クハ燒棄ルコト
六、螟卵ニ寄生スル小蜂ヲ保護スルコト

浮塵子

一、捕虫網ヲ以テ掬殺スル事
二、注油驅殺スルコト
三、苗代田跡地ニ注油驅除スルコト

螟蛉

一、捕虫網ヲ以テ掬殺スルコト
二、注油驅殺スル事

葉捲虫

一、適宜ノ木片ヲ以テ巢ヲ打チ潰殺スルコト
二、布袋ノ附キタル竹櫛ヲ以テ掬採スルコト

蠶蛾

一、捕虫網ヲ以テ掬殺スルコト

二、卵ハ採拾シ稻株又ハ畦畔ニ產附ケタルモノハ削取リ堆肥ニ積ミ込ムコト

切　蛆

一、周圍ニ溝ヲ設ケ水ヲ張リ浸入ヲ防クコト

象鼻虫

一、捕虫網ヲ以テ捕獲スルコト

蛞　蝓

一、卵ハ潰殺シ又ハ成虫ヲ捕殺スルコト

二、卵ハ採拾燒棄スルコト

三、冬期落葉ヲ燒棄スルコト

天　牛

一、卵ハ潰殺シ又ハ成虫ヲ捕殺スルコト

二、枝幹ニ蝕入シタルモノハ銅線刺殺シ又ハ注油法ヲ行フコト

尺　蠖

一、卵塊ヲ採拾燒棄スルコト

二、幼虫ハ鋏ニテ切斷スルコト

三、冬期落葉ヲ集メテ燒棄スルコト

地　蚕

一、採拾驅殺ヲ行フコト

二、被害畑ノ周圍ニ溝ヲ設ケ陷落シタルモノヲ驅殺スルコト

介　売　虫

一、除虫菊加用石油乳劑ヲ塗抹スルコト

二、少量ノ石油ヲ樹幹ノ被害部ニ摩擦スルコト

蚜　虫

一、石鹸溶液又ハ石油乳劑十倍乃至二十倍液ヲ撒布スルコト

第三條　害虫田畑ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞レアルトキハ該田畑作人ハ之ヲ市町村長ニ町村長ハ郡長ニ郡市長ハ知事ニ其狀況ヲ急報スヘシ

第四條　郡市町村長ハ前條ノ急報ヲ受ケタルトキ又ハ必要ト認メタルトキハ豫メ期限ヲ定メ該田畑ノ作人ヲシテ驅除豫防ヲ行ハシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ作人驅除豫防ヲ行ハサルトキハ町村長ハ之ヲ郡長ニ急報スヘシ

第五條　郡市長ハ左ニ揭クル場合ニ於テハ害虫驅除豫防法第三條（第二項）第四條第五條第六條ニ據リ處辨スルコトヲ得

一、作人ニ於テ前條ノ驅除豫防ヲ行ハサルトキ

一、害虫蔓延シタルトキ又ハ蔓延ノ兆アルトキ
一、害虫田畑以外ノ地ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞レアルトキ

第六條　郡市長ハ前條ニ據リ市町村費ヲ以テ之カ驅除豫防ヲ行フトキハ其都度左ノ事項ヲ知事ニ報告スベシ

一、害蟲ノ種類
二、郡市町村名
三、被害農作物ノ種類及被害見積反別
四、被害ノ狀況

第七條　本規則第一條ニ揭クル種類以外ノ害蟲及蟲類以外ノ動物黴菌ト雖モ農作ヲ害シ又ハ害スル虞アルトキハ作人ハ之ヲ市町村長ニ町村長ハ郡長ニ郡市長ハ知事ニ其狀況ヲ急報スベシ

第八條　害蟲發生シタルトキハ其市町村長ヨリ直チニ隣接市町村長ニ急報スベシ

第九條　町村農會成立セル地方ニ在テハ該農會ニ於テ其成立セサル地方ニ在テハ耕作人ニ於テ害蟲驅除豫防規則實施規定ヲ設ケ之レヲ實行スベシ

前項ノ規定ハ町村長郡長ヲ經テ知事ニ届出ツヘシ其ノ規定ヲ變更シタルトキ亦仝シ

害蟲驅除豫防規則實施規定

第一條　農作物害虫驅除豫防實施ノ爲メ各字ニ害虫驅除豫防委員ヲ置ク

第二條　害虫驅除豫防委員ノ定員ハ一字　名乃至　名トシ町村農會長之レヲ囑託ス

第三條　害虫驅除豫防委員ニハ年手當ヲ支給ス其額ハ毎年豫算ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　害虫驅除豫防委員ハ其部内ニ於ケル農作物害虫驅除豫防ノ責ニ任シ害虫田畑ニ發生シ又ハ發生ノ虞レアルトキハ害虫驅除豫防規則（明治三十二年四月十八日縣令第十八號）第三條ニ依リ該田畑作人ヲシテ直チニ其狀況ヲ町村長ニ急報セシムヘシ

前項ノ場合害虫驅除豫防委員ハ直チニ其狀況ヲ町村農會長ニ報告スヘシ

第五條　町村農會長ハ前條二項ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ郡農會長ニ報告シ相當ノ措置ヲ請フモノトス

第六條　害虫驅除豫防委員ハ害虫一齊驅除ニ際シテハ施行期日前豫メ部内作人ニ就キ驅除ニ要スル器具其他設備ノ有無ヲ撿シ若シ設備ナキモノヲ認メタルトキハ直チニ之レカ設備ヲ爲サシムヘシ

第七條　害虫驅除豫防委員ハ害虫一齊驅除ノ當日ハ部内ヲ巡視監督シ作人ノ採集シタル害虫ヲ其字一ケ所若クハ二ケ所ヘ取纏メ直チニ燒棄處分ヲ爲スヘシ

但燒棄前其數量ヲ取調ヘ置クヘシ

第八條　害虫驅除豫防委員ハ前條但書ニ依リ取調ヘタル害虫ノ數量及驅除ニ從事シタル人員其他ノ事項ヲ別紙第一號樣式ニ依リ町村農會長ヘ驅除終了ノ翌日報告スヘシ

第九條　町村農會長ハ前條害虫驅除豫防委員ノ報告書ヲ取纏メ別紙第二號樣式ノ報告書ヲ調製シ驅除終了後十日以内ニ町村長ヘ提出スルモノトス

第十條　町村農會長ハ害虫驅除豫防委員ヲ囑託又ハ解職シタルトキハ其都度町村長

ニ報告スルモノトス

第十一條　本規定ハ害虫ノ外病害ニ付テモ之レヲ適用ス

第一號様式ノ一

苗代田害虫驅除豫防施行成蹟報告

苗代別	螟虫蛾卵塊	螟虫（アオムシ）何々	油使用高	支出額	驅除ニ從事シタル人員
箇所			數量	價額	協議費

右及報告候也

年　月　日

何町（村）何字

害虫驅除豫防委員　何　某　印

町村農會長宛

第一號樣式ノ二

本田害虫驅除豫防施行成蹟報告

蝗虫浮塵子施行反別	浸蝕莖把數	注油全施行反別	注油全量代金	何々施行員數	何々施行反別員數	協議費支出額	驅除ニ從事シタル人員

備考　浸蝕莖一把ハ尺束トス

右及報告候也

年　月　日

何町（村）何字

害虫驅除豫防委員　何　某　印

町村農會長宛

第二號樣式ノ一

苗代田害虫驅除豫防施行成蹟報告

字名	苗代箇所	螟虫反別	蛾卵塊	螟蛉（アヲムシ）	何々	油使用高	町村農會費支出額	協議費支出額	驅除ニ從事シタル人員
何字									
〃									
〃									
計									

右及報告候也

年月日

何町（村）農會長　何　某　印

町村長宛

第二號樣式ノ二

本田害虫驅除豫防施行成蹟報告

字名	螟虫浮塵子施行反別	浸蝕薬把數	施行反別	注油數量	仝代金	何々町村農會協議費施行反別	員數	費支出額	支出額	驅除ニ從事シタル人員
何字										
〃										
〃										
計										

右及報告候也

年月日

何町(村)農會長　何　某　印

町村長宛